

第23期生（2018年4月入学生）大募集 建築カレッジで人生は変わる。仲間ができる！

学ぶ意欲あふれる入学対象者をご紹介します。

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

授業見学
大歓迎！

Tel
03-
5950-1771



Jw-cadを学習中（10月27日、1年生の授業）

東京建築カレッジは、こうした状況

今、建築の現場で目立つのは、組み立て作業です。材料は工場で作られたもの。分業や効率化が進み、全体が見えにくくなっています。建築の本質や知識、技術・技能を、建築の現場だけで習得することが難しい現実があります。

本校は、存在意義や社会的使命を再確認するため昨年4月、教務運営委員会です。以下に文章を策定しました。

「建築の世界で輝きたい」「手に職をつけたい」「国家資格を取りたい」。東京建築カレッジ入学の動機は様々です。しかし、共通していることがあります。それは、本校の存在をどこかで知り、教育実践に魅力を感じて2年間の学びを選んだ、ということです。今、建築カレッジでは来春入学・第23期生募集の広報宣伝を強めています。「知らなかったためにカレッジに入れなかった」という人をゼロにするためです。皆様、新入生募集活動にご協力をお願いいたします。

この課題を建設事業主の皆さんと共有し、次の時代を担う建築の技術技能者を育てます。

かつては、大工や設計をはじめ多くの職種は現場教育によって新人を育てていました。今では仕事の進め方が様変わりしたため、現場で未経験者に高度な技術・技能を継承することが困難になってい

況を踏まえ、働きながら学ぶために設立されました。

学びの中心は、高度な木造建築技術。豊富な森林資源が育んだ日本の建築文化を生かし、発展させることも使命です。



実習棟実習の刻み作業（10月28日）

ます。この文章には、だからこそ、建築カレッジの役割が重要、という思いを込めました。

本校が得意とする木造住宅の分野では、築年数も痛み具合も千差万別の建築物を改修する仕事が大きく拡大しています。そこで求められるのは、木と木造建築についての確かな知識・技術です。安易な建て替えでなく、適切なリノベーション、リフォームによって家を長持ちさせる役割が建築の専門家に求められます。

本校では、中小建設事業主が後継者育成・新入社員教育の一環として建築カレッジを利用されることをお勧めしています。職業意識の向上や同世代の仲間との交流を通して早期離職を防ぐ効果が期待できます。お気軽にご相談ください。

には求められます。カレッジでの学びはその要請に応えるもの。「カレッジで人生は変わる」と言うのは決して大げさなことではありません。

年内最後の入学選考＝12月6日！

授業＆学校見学は お気軽に！

第3回募集日程	
学校説明会	11月21日（火）午後2時・午後7時
応募締切	11月30日（木）
試験日	12月6日（水）午前10時～
結果発表	12月8日（金）

最終の第4回募集日程は、東京建築カレッジのウェブサイトに掲出の募集要項をご参照ください。

お問い合わせ・資料請求は下記まで

東京建築カレッジ 事務局 03・5950・1771
〔東京土建技術研修センター内〕月～金、9時～18時

卒制に応援を

建築カレッジの2年間の学びの集大成、唯一の自由課題が卒業制作です。今年は先生方から遅れを指摘する声が相次ぎ、各グループ共にお尻に火がついてきました。

2月18日(日)が発表会ですが、**12月23日(土)の中間発表会(見学歓迎)**に向けて、時間とのたたかいは始まっています。床の間付き和室、奇跡の階段、教会建築、自宅の新築など、テーマは様々。応援をお願いします。

「四方転び踏み台」から「棒隅木」へ



図面の理解、作図から始まり、(10月21日)

2年生(第21期生)の実技実習は「四方転び踏み台」が10月

2年生の授業から

14日(土)に終了し、10月21日(土)から「棒隅木」という課題に入りました。棒隅木とは、寄棟屋根の隅の部分の構造体のこと。「これをマスターすれば家一軒建てられる」と話す棟梁もいます。

2年生の晩夏からの実技実習は、「朝顔箱」「風呂イス」「四方転び踏み台」「棒隅木」の順で各研修生が課題に挑戦していきます。部材への正確な墨付けには「規矩(きょう)術」を使います。数学を建築の実務に利用するため江戸時代に確立された日本の大工技術理論です。

1年生の授業から

1年生(第22期生)では「構造力学実験」の授業が始まりました。建物の形や構造

は、そこにはたらく力によって決まりますが、力は目に見えません。つまり、理



ゲーム感覚で楽しみながら力学を学びます。(10月20日)

建築カレッジ☆11月の予定

◇ミニ公開講座「エアコンを使わずに快適に暮らす住まいづくり」第4回「スダレは室内に掛けない」(参加無料、金田正夫 講師)

「高気密・高断熱=省エネ住宅」キャンペーンへの批判的検証の狙いもあります。お試し参加も大歓迎。

お気軽にご参加ください。**11月4日(土)午後6時半開場・午後7時開会、池袋校舎**

◇1年生 実習棟実習：11月3日(金)、10日(金)、18日(土)、25日(土) いずれも午後、江東実習場
OJT報告会：11月4日(土)池袋校舎

◇2年生 OJT報告会：11月11日(土)池袋校舎
奈良宿泊研修：11月16日(木)～18日(土)
*11月15日(水)夜行バスで出発。

授業は毎週金・土。見学随时OK。要予約

見えない『力』が見える人を育てる

解しにくいものです。担当の松田紘講師は「構造力学の数理性が苦手意識を助長している」と指摘します。そこで建築カレッジでは松田講師が工夫を凝らし、構造模型や図形を使い、「見えない力が見える人、感じられる人」の育成に取り組んで

います。上の写真は、4ミリの角のヒノキの棒を接合して作った構造体(100g以内)で集中荷重にどれだけ耐えられるか、競い合う実験のお手本を見せているところです。

10月27日(金)の授業以降に、研修生一人ひとりが自分で設計デザインしたトラス構造体を製作します。11月4日(土)・11日(土)頃の授業で実験を行う予定です。各自の製作物が集中荷重にどれだけ耐えられるか、試す授業はとてにぎやかで楽しいものです。見学を歓迎します。